



田植えが終わった田んぼを見ながら、無事に実りますように、と祈るような気持ちでいます。次世代を担う若者たちが農業を仕事にできる選択肢が増える政策ができるといいなあ、と思います。図書館には農業関連の資料も揃っています。機会があればぜひご覧ください。



昨年度に実施した学校図書館支援センターの活動報告をいたします。

2024年度 学校図書館支援事業紹介

事業名	実施状況
図書館見学の受入	小学校： 10 校 幼稚園 1 園
職場体験の受入	中学校： 8校（19 人）
出前講座	小学校：8校（23 回） ※大野原小 軽野小 須田小 等
学校図書館環境整備	対象校：波崎小学校（11 月）
調べ学習用図書 セット貸出	小学校貸出数：81 回 中学校貸出数：3 回 〈合計 84 回〉 ※テーマ別利用回数ベスト3 「擬態」「食品加工」「百科事典」
配本図書事業 （読み物）	配本先：42 ヶ所 （小中学校 22 校 幼稚園・保育園20 園） ※貸出冊数：32, 300冊
学校★（ほし）ほん お届けサービス	実施校：小学校14校 中学校6校 高等学校1校 〈計 21 校〉 貸出冊数：4, 145 冊（月平均：376.8 冊 1人当：0.67 冊） 配送回数166 回

読み聞かせの効果…学校図書館アドバイザーからのひとこと

かつて私が教員だった頃、帰りの会（低学年担任）での読み聞かせは、毎日のルーティーンでした。一年間に約200冊。子ども達は、皆、「今日はどんなお話？」と、読み聞かせを楽しみにしてくれていました。一瞬で子ども達を静かにしてしまう読み聞かせは、まるで魔法でした。現在、学校図書館アドバイザーとして、多くの学校に出向き授業のお手伝いをさせていただいています。そんな私の今の楽しみが、講座での読み聞かせとそのための絵本選びです。初めて出会う子ども達の心をグッと引き寄せることができる読み聞かせは、子どもたちと私のコミュニケーションツールの一つとなっています。

読み聞かせには、①子どもの心が安定する。②想像力が育まれる。③言語能力が向上する。④感情表現が豊かになる。⑤集中力がUPする。といった様々な力が身に付くと言われています。さらに、聴き手と読み手との関係性の深化など、心理的な効果も得られるそうです。短く簡単な絵本で充分です。楽しみながら、授業の合間に、ぜひ、読み聞かせをしてみませんか。読み聞かせは、生後、数か月から、早ければ早いほどいいそうです。



出前講座、ちょっとのぞいてみたら

【息栖小学校】

それぞれの役割を明確化した講座

6年生「オリエンテーションのお手伝い」

本時の課題：本の分類の仕組みを知り、読みたい本を探してみよう。

活動：①学校司書による読み聞かせ

紙芝居『しじゅうからツツピー』

②学校図書館の利用の仕方の確認

③分類法の確認をする。

④読みたい本を探して借りて読む。

⑤まとめと振り返りをする。

⑥学校図書館アドバイザーによる読み聞かせ『ぼくとがっこう』

息栖小学校図書館キャラクター「ブックン」にちなんで、鳥のお話を紹介し、講座を盛り上げました。このキャラクターは約10年前に児童が考えたものです。毎回図書だよりも登場し、皆に愛されています。

導入とまとめは、各担任の先生方が担当しました。



【横瀬小学校】

準備段階で、先生方と学校司書の連携プレーが光った講座

2年生「図書館たんけん」

本時の課題：図書館のひみつをみつけよう

活動：①アドバイザーによる読み聞かせ

『ありこのおつかい』

②図書館探検で図書館のひみつを見つける。

③背ラベルの数字を知る。

④ミッションに挑戦する。

⑤本の分け方、並び方について知る。

⑥まとめと振り返りをする。

ひみつを見つける図書館探検で、児童は掲示してある「日本十進分類法」を見つけました。

ミッションにチャレンジ中の子ども達の様子です。本が仲間分けされて棚に並んでいることを確かめるために、班ごとに指定されたテーマの本の番号調べをしました。



1 学期の学校図書館支援センターの主な動き

○統計報告の提出

毎月10日 ※FAX可です!

○定期巡回 6~7月に1回訪問予定

(各校の訪問日は巡回スケジュール参照)

○学校図書館アドバイザー訪問(6月25日まで)

○図書購入2回目

6月第2週：購入依頼書の配布

7月第1週：購入依頼書の提出メ切

○配本の予定 第2回目

波崎方面：配本 6/4(水)→回収 7/16(水)

神栖方面：配本 6/5(木)→回収 7/17(木)

